



中四国 いんぷあ め〜しょん

2023年2月
第49号

企画・発行 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 学術情報課 Tel 082-241-1619
協力 中四国ブロック内各赤十字血液センター

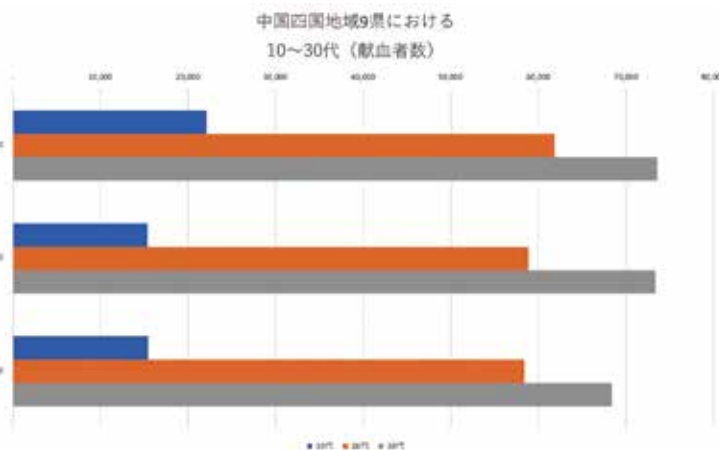


中四国管内の学生献血推進ボランティアの活動について

学生献血推進ボランティアについて

現在、日本では「若年層」と呼ばれる10代～30代の献血離れが深刻化しています。そんな「若年層」に同世代の立場から積極的に献血を呼びかけ、若年層を中心とした献血協力者を増やすことを目的として活動しているのが学生献血推進ボランティアです。

各都道府県には大学および短期大学・専門学校の学生で構成された学生献血推進ボランティアの団体が存在し、若年層への献血普及啓発のために大きな役割を担っています。



中国四国学生献血推進協議会について

「中国四国学生献血推進協議会」は、中国・四国地域9県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）の学生献血推進ボランティア団体により構成された組織です。各県の活動に関する意見交換や献血について知識や意欲向上を目的とした研修会の実施、全国および中国・四国地域で統一的に実施されるキャンペーンやイベント等の企画・立案について協議を行っています。令和4年4月現在、843名の学生献血推進ボランティアが中国四国学生献血推進協議会のメンバーとして活動しています。

今回は、広島県、香川県、愛媛県の学生推進団体を紹介させていただきます。



広島県

広島県学生献血推進協議会「ラブロック」です。私たちの特徴は、キッズ献血と呼ばれる小学生向け模擬献血液験イベントを行っていることです。大勢で楽しく活動しています。



香川県

香川県学生推進協議会LOVERSは、事前の広報や当日の呼びかけをおこなっています。LOVERSの強みはメンバーの多さを活かした広報力です。LINEグループでは、メンバー募集や、情報共有を活発に行っています。



愛媛県

愛媛県学生赤十字奉仕団献血推進委員会は、SNSを使用した広報活動、献血会場における献血協力の呼びかけ等、多岐にわたり活動をしています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、従来通りの取り組みを行うことが難しい状況下においても知恵と工夫を用い、献血協力者の確保に向け若年層を盛り上げています。



中四国学生献血推進協議会

新型コロナウイルス感染拡大以前は、中国四国地域9県の学生が集まり会議を実施していましたが、感染拡大以降は、年4回Webを繋いで意見交換、今後の活動打ち合わせを行っています。

（中四国ブロック血液センター 献血管理課 伊藤祐輝）

血液センターの輸血用血液製剤の在庫ってどのくらい？

皆さんのところにある血液センターや供給出張所に輸血用血液製剤の在庫はどのくらいあるかで存知ですか？輸血用血液製剤には、大きく分けると赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤がありますが、当然のことながら、規格別、血液型別に保管管理しています。

交通外傷の患者が運ばれてきた！手術室から急に大量の発注が！そんな時、血液センターがどれくらい在庫を持っているかを知っているだけでも参考になると思います。

話は少し変わりますが、中四国ブロック血液センター管内には、“調整センター”といわれる血液センターが3か所あり、広島県、香川県、そして岡山県がその役割を担っております。

この調整センターは、ブロック内外を問わず、血液が不足する可能性があるとの情報を得た場合等、ブロック血液センターの指示により、必要としている県に必要な量の血液製剤を補充するため、少し多めの血液製剤を在庫しております。

調整センターである岡山県赤十字血液センターの在庫数は、赤血球製剤は県内の医療機関の皆さんが1日に使用される約3日分、新鮮凍結血漿は運用上、約2週間分を“定数”とし在庫しています。

3日分？2週間分？って良く分らないかと思ひますので、今回は皆さんが良くご使用されている赤血球製剤について規格、血液型別に表にまとめました。

いかがでしょうか。皆さんが思っていたより少ないですか？多いですか？基本的に定数以上の血液を在庫しておりますが、日々の出庫や献血状況により変動いたします。

ご施設を担当しております供給施設にお尋ねいただければ、各製剤の在庫数（定数）をお伝えできると思ひます。

血液センターの在庫数を把握しておくことや、近隣の供給施設や調整センターから血液製剤を取り寄せた場合に要する時間を予め知っておくことで、予期せぬ出血や大量のオーダーに対しても、慌てることなく臨床側への対応ができるかもしれません。

血液センターは皆様からの発注に対し、時機を逸することなく、必要な製剤を必要な量お届けするため、輸血用血液製剤の確保に努めております。それでも、日々の在庫状況によって、直ちに対応できない事もあります。在庫数の少ない製剤などを使用する情報が入りましたら、可能な限り早めに血液センターにご相談いただけると幸いです。

これからも患者様のため皆様と一緒に全力を尽くしてまいります。

（岡山県赤十字血液センター 学術情報・供給課 内藤一憲）

【赤血球製剤用冷蔵室】



表. 赤血球製剤の在庫数（定数）－ 令和4年12月現在 －

単位：本				
	A型	O型	B型	AB型
Ir-RBC-LR1	6 (0)	6 (0)	4 (0)	4 (0)
Ir-RBC-LR2	152 (7)	102 (6)	63 (5)	28 (4)
RBC-LR1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
RBC-LR2	20 (0)	20 (0)	10 (0)	7 (0)

上段：RhD陽性（下段：RhD陰性）

